



2019. 3. 10
NO. 600

歴史遺産を後世に

高知 吉良氏に知事答弁

日本共産党の吉良彦高知県議は2月28日の県議会で代表質問し、財務省所有の高知市にある旧陸軍歩兵第44連隊の跡地について、戦争の歴史を伝える場所として保存・活用するよう求めました。尾崎正直知事は跡地を借りて活用することが困難になったので、購入を前提に検討すると答弁し、資料館のような施設を整備する考えを示しました。

吉良氏は、県がこれまで、跡地の購入を「ハードルが高い」としていた状況から一転させた理由を聞きました。尾崎知事は国との協議が不調に終わり、跡地を購入せずに活用することは困難との結論に至ったと報告。「記憶の風化が憂慮される現状において、戦争のあった時代の歴史を後世に引き継ぐことは大変重要なことだ」とのべました。

吉良氏は会計年度任用職員制度について、非正規雇用職員の処遇改善が目的だとし、処遇が引き下げられようとしている職種があることなどを指摘し、「処遇の引き下げがあるってはならない」と追及。尾崎知事は職員が力を発揮できるように処遇改善をはかる決意を表明しました。

吉良県議が 代表質問

3月2日付 日刊 赤旗 より

吉良県議は他に、毎月勤労統計調査の偽装問題、地方自治と辺野古新基地問題、会計年度任用職員問題、農業問題、国保問題、教職員員の異常な長時間労働是正などを追求します。



志位委員長を迎えての 演説会にどうぞ

3月16日(土)

14:00 ~

県民文化ホール
オレンジにて

最新の国会情勢と世直の話!
ぜひお出かけください。

政治をかせとる人たちに、負けわけにはいかない!!と静かに闘志をよめている未だぞ。

そいとお金の使い方より、国保や介護に国がドーンと予算をまわせば、安心して病氣や老後におびおびする。県議選もいよいよ目前です。

てくてく歩記 (599)

○ 辺野古の新基地建設問題、沖縄県民の中止を求める度重なる声を平然とふみこむ安倍政権の不ふてしを、本堂に腹たたく思います。軟弱地盤90m、流み続ける基地を、税金を流し込み、情報をかこし、地方自治はふみつけろ。まさに7Rの政治!! こんど